

事業番号	05 07 03	事業改善シート(30年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	感染症対策事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
		実施期間	S26 ~	E-mail	hoken-shippe@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康寿命				
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実				

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	人・物の移動の迅速化、国際交流の進展などにより、ひとたび感染症が発生した場合は一気に広がる懸念がある。また、蚊媒介感染症(デング熱・ジカ熱など)の国内(県内)発生や性感染症の広がりも懸念されているところである。 なお、平成28年度に県内で届出のあった感染症(全数把握感染症)は27疾患となっている。				30年度 決算額	313,453 千円									
					職員数	59.40 人									
目指す姿	<p>感染症が発生した際の拡大防止を図り、県民生活への影響を最小限に抑えるため、迅速な疫学調査の実施や感染症指定医療機関等との連携強化を推進していく。 また、感染症にかからないための予防啓発も引き続き実施していく。</p> <p>(主な実施内容:感染症発生動向調査、新型インフルエンザ対策、結核予防対策、ウイルス肝炎対策 など)</p>														
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況										
	予算額	前年度繰越	0	0	0	No	成果指標	29年度	30年度						
		当初予算	467,260	425,868	363,874				目標値	成果	達成状況				
		補正予算	-79,711	19,016	0				① 結核罹患率(人口10万対)	全国平均以下	全国平均以下	集計中			
		合計(A)	387,549	444,884	363,874					② 感染症情報発行	週報52週 月報12週	週報52週 月報12週	週報52週 月報12週	達成	
	Aの 財源	一般財源	200,718	257,628	203,305	③ 感染症指定医療機関の数(現状維持)	11医療 機関	11医療 機関			11医療 機関	達成			
		県債	0	0	0		成果指標 設定理由	①感染症の流行状況を迅速・正確に調査・公表することにより、県民生活への影響を最小限度に抑える。 ②③感染症指定医療機関を維持し、必要な備品等の整備を促進することにより、万が一の感染症発生に備える。							
		国庫支出金	186,783	187,233	160,569			目標に対する 成果の状況	①成果値集計中 ②感染症の流行状況を医療機関等の協力を得ながら週報及び月報により情報提供し、県民に対する注意喚起を図った。 ③感染症指定医療機関数を維持し、万が一の感染症発生に備えた。						
		その他	48	23	0				2 今後の事業の方向性						
	決算額(B)	360,721	313,453		<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施										
概算 人件 費	職員数(人)	59.40	59.40	59.40	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">課題</th> <th colspan="2">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td>・感染症の検体の検査、分析を行う環境保全研究所等の検査機器が老朽化している。 ・HIV検査時点で既にエイズを発症しているいわゆる「いきなりエイズ」の率が全国に比べて高い。</td> <td></td> <td>・検査精度を維持し、感染症の拡大防止を図るため、必要な検査機器の更新を行う。 ・早期のHIV検査を促すため、検査・相談体制の充実や啓発活動の促進を図る。</td> <td></td> </tr> </table>				課題		今後の方向性		・感染症の検体の検査、分析を行う環境保全研究所等の検査機器が老朽化している。 ・HIV検査時点で既にエイズを発症しているいわゆる「いきなりエイズ」の率が全国に比べて高い。		・検査精度を維持し、感染症の拡大防止を図るため、必要な検査機器の更新を行う。 ・早期のHIV検査を促すため、検査・相談体制の充実や啓発活動の促進を図る。
課題		今後の方向性													
・感染症の検体の検査、分析を行う環境保全研究所等の検査機器が老朽化している。 ・HIV検査時点で既にエイズを発症しているいわゆる「いきなりエイズ」の率が全国に比べて高い。		・検査精度を維持し、感染症の拡大防止を図るため、必要な検査機器の更新を行う。 ・早期のHIV検査を促すため、検査・相談体制の充実や啓発活動の促進を図る。													
概算 事業費 (B(A)+C)	841,980	801,602	852,023												
備考															

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性

### 3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		感染症対策事業	感染症の予防及び感染症患者発生時のまん延防止を図るため、病原体検査の実施や感染症指定医療機関への助成を行った。	17.30	73,093	60,078	78,718
2		感染症調査予防事業	感染症発生情報の収集・解析のため、発生動向調査や、流行予測調査等を実施した。	16.00	19,790	20,607	19,599
3		結核対策事業	結核患者を早期発見し、二次感染防止等を図るため、健診(検診)事業や医療費の負担を行った。	7.40	62,388	53,484	64,686
4		結核特別対策事業	結核に関する知識の習得や地域連携を図るため、結核予防技術講習会への参加や、服薬確認(DOTS)事業を行った。	0.10	411	366	405
5		特定感染症(エイズ・性感染症)対策事業	エイズ対策の総合的推進を図るため、検査・相談事業や啓発事業を行った。	11.50	6,538	6,835	7,504
6		ウイルス肝炎対策事業	ウイルス肝炎の早期発見・早期治療を図るため、肝炎検査や患者への医療費負担を行った。	7.00	263,432	171,867	192,746

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
7		ハンセン病対策事業	ハンセン病に関する正しい知識の普及や療養所施設の入所者への支援を図るため、社会交流事業や療養所訪問を行った。	0.10	216	216	216
<b>合計</b>				<b>59.40</b>	<b>425,868</b>	<b>313,453</b>	<b>363,874</b>

## 事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	感染症対策事業			部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課			
05 07 03											
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度			
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）
1	感染症対策事業	感染症対策協議事業	直接	感染症対策協議会の開催	11月5日に会議を開催し、感染症の予防、感染の拡大防止等について意見をいただいた。	計画通り ○	286	163	163	0	139
1	感染症対策事業	感染症健康診断事業	直接	健康診断医薬材料費の購入、感染症検査機器（微生物検査機器等）の更新を行う。	健康診断検査用医薬材料の購入、感染症検査機器（高圧蒸気滅菌器等）の更新を行った。	計画通り ○	11,910	36,455	20,453	0	10,575
1	感染症対策事業	感染症入院医療費負担事業	直接	感染症患者を指定医療機関へ移送体制を整備する。	感染症患者を指定医療機関へ移送する体制を整備した。	計画通り ○	608	401	401	0	28
1	感染症対策事業	感染症指定医療機関補助事業	直接	第一種（1病院）、第二種（11病院）感染症指定医療機関の運営費に対して補助を行う。	申請のあった感染症指定医療機関（第一種：1病院、第二種：10病院）の運営費に対して補助を行った。	計画通り ○	39,080	38,984	38,984	83	34,165
1	感染症対策事業	予防接種対策事業	負担金	予防接種により健康被害を受けた者に対し、医療費、障がい年金等を負担する	予防接種により健康被害を受けた者に対し、医療費、障がい年金等を負担した。	計画通り ○	11,577	9,895	9,895	1,618	11,559
1	感染症対策事業	予防接種対策事業	委託	予防接種センター事業を実施する。	長野県立こども病院に予防接種センター業務を委託した。	計画通り ○	0	2,622	2,622	0	2,621
1	感染症対策事業	新型インフルエンザ等対策推進事業	直接	新型インフルエンザ対策として、検査試薬の購入を行う。	新型インフルエンザ対策として、抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス実施要領に基づき、薬剤耐性確認検査を実施。	計画通り ○	14,117	442	442	84	275
1	感染症対策事業	風しん抗体検査事業	委託	安心して妊娠・出産できる環境づくりに資するため、第一子の妊娠を希望する女性等を対象に、風しんの抗体検査を実施する。	各保健所において、風しん抗体検査を実施。合計674件の検査を行った。（㈱北信臨床へ委託）	計画通り ○	177	133	133	352	716
2	感染症調査予防事業	感染症発生動向調査事業	直接	感染症の発生状況を収集・分析するため、届け出医療機関への協力謝金や、環境保全研究所で行う検査の医薬材料費を購入する。	感染症の発生状況を収集・分析するため、届出医療機関への協力謝金や、環境保全研究所で行う検査のための医薬材料を購入した。	計画通り ○	16,561	16,859	16,859	170	17,911
2	感染症調査予防事業	感染症流行予測調査事業	直接	インフルエンザや麻しん・風しん等の感染症の流行予測を行うため、保健所が実施する検査に係る医薬材料費を購入する。	インフルエンザや麻しん・風しん等の感染症の流行予測を行うため、環境保全研究所が実施する検査に係る医薬材料を購入した。	計画通り ○	1,086	1,203	1,203	0	1,001
2	感染症調査予防事業	感染症健康診断等予防対策事業	直接	インフルエンザ様疾患の集団発生の状況把握のため、環境保全研究所が行う検査に係る医薬材料費を購入する。	インフルエンザ様疾患の集団発生の状況把握のため、環境保全研究所が行う検査に係る医薬材料を購入した。	計画通り ○	333	333	333	0	322
2	感染症調査予防事業	医療従事者感染症対策研修事業	直接	医療従事者に対する感染症の情報や医療技術の伝達等のため、医療従事者感染症対策研修会を開催する。（年1回）	9月15日に開催し、約90名が出席。HIVに関する最新の情報等を学習する機会となった。	計画通り ○	1,000	976	976	0	956
2	感染症調査予防事業	予防接種後健康状況調査事業	直接	予防接種後の被接種者の健康状況について情報を収集する。	予防接種後の被接種者の健康状況について情報を収集した。	計画通り ○	444	419	419	0	417
3	結核対策事業	結核健診事業	直接	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施するため、医薬材料費を購入する。	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施するための医薬材料を購入し、1,607人に対し健診を実施した。	計画通り ○	24,896	7,694	7,694	0	7,594
3	結核対策事業	結核健診事業	委託	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の検診を実施するため、エックス線撮影を実施する。	結核の疑いのある者の健診、結核治癒後の者の408人に対し検診を医療機関へ委託して実施、患者・感染者の早期発見及び治癒後の者の経過観察に努めた。	計画通り ○	6,901	7,376	7,376	0	2,515

事業番号	事業名	感染症対策事業			部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課				
05 07 03												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	
3	結核対策事業	結核医療費負担事業	直接	通院患者及び入院勧告患者に対して医療費の公費負担をする。	通院患者及び入院勧告患者に対して医療費の公費負担をした。	計画通り ○	34,482	39,110	36,781	0	34,289	
3	結核対策事業	結核健康診断補助事業	補助	私立学校及び私立施設が行う定期健康診断に要する費用について、補助する。（令和元年度は185事業者を予定）	私立学校及び私立施設が行う定期健康診断に要する費用について、173事業者に対し補助した。	計画通り ○	9,800	9,811	9,811	0	8,444	
3	結核対策事業	結核定期病状調査事業	直接	結核の二次感染等を防ぐため、結核登録者のうち病状把握が困難な者について、医療機関等から登録屋者の病状を把握する。	結核の二次感染等を防ぐため、結核登録者のうち病状把握が困難な者238人について、医療機関等へ依頼し238人の病状を把握した。	計画通り ○	774	726	726	0	642	
4	結核特別対策事業	結核予防総合事業	直接	結核患者の服薬確認(DOTS)を徹底するため、服薬手帳を作成し、患者に配布する。（300部作成予定）	結核患者の服薬確認(DOTS)を徹底するため、服薬手帳を300部作成し、患者に配布した。	計画通り ○	142	142	142	0	97	
4	結核特別対策事業	結核予防技術者研修事業	直接	結核業務に従事する保健所職員を研修に派遣する。	結核業務に従事する保健所職員4人（医師2人、保健師2人）を結核研究所研修に派遣した。	計画通り ○	245	269	269	0	269	
5	特定感染症（エイズ・性感染症）対策事業	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	直接	保健所が行うHIV等の性感染症の無料検査に係る医薬材料費を購入するとともに、エイズ予防に関する啓発パンフレットを作成する。	保健所が行うHIV等の性感染症の無料検査に係る医薬材料費を購入し各保健所に配布した。一版および中学生用の啓発パンフレットを作成した。	計画通り ○	5,727	5,313	5,313	1,169	5,876	
5	特定感染症（エイズ・性感染症）対策事業	エイズ・性感染症相談・検査、普及啓発事業	委託	性器クラミジア感染症等検査、HIV・エイズ診療及び患者の実態調査を実施する。	各保健所において性器クラミジア感染症等検査を実施した。（株北信臨床へ委託） HIV・エイズ診療及び患者の実態調査を長野県医師会に委託して実施した。	計画通り ○	1,225	1,225	1,225	0	959	
6	ウイルス肝炎対策事業	ウイルス肝炎対策事業	直接	ウイルス肝炎診療協議会を開催するとともに、ウイルス肝炎患者の経済的負担軽減を図るため、慢性肝炎、肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費の一部を負担する。	ウイルス肝炎診療協議会を開催するとともに、ウイルス肝炎患者の経済的負担軽減を図るため、慢性肝炎、肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費の一部を負担した。	計画通り ○	277,413	255,198	255,198	15,406	164,132	
6	ウイルス肝炎対策事業	ウイルス肝炎対策事業	委託	肝疾患相談支援センター事業、ウイルス肝炎検査事業等を実施する。	肝疾患診療連携拠点病院（信大）に肝疾患診療相談センターを設置し、相談業務を委託した。 各保健所においてウイルス肝炎検査事業を実施した。（株北信臨床へ委託）	計画通り ○	8,260	8,234	8,234	134	7,735	
7	ハンセン病対策事業	ハンセン病対策事業	直接	ハンセン病に関する正しい知識の普及や療養所施設の入所者への支援を図るため、社会交流（里帰り）事業や療養所訪問（2か所）を行う。	2か所の療養所に訪問し、入所者との交流を行った。 里帰り事業は希望が無かったため、未実施。	計画通り ○	216	216	216	0	216	
合 計								467,260	444,199	425,868	19,016	313,453